



2019年3月22日

各 位

会 社 名 株式会社オークワ
 代表者名 代表取締役社長 神吉 康成
 (コード8217 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役執行役員管理本部長
 兼IR室長 東川 浩三
 TEL 073-425-2481

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年4月2日に公表した通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年2月期 業績予想数値の修正 (2018年2月21日～2019年2月20日)

(1) 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	269,000	3,300	3,550	1,200	26.90
今回発表予想 (B)	265,000	2,800	3,000	250	5.60
増減額 (B - A)	△4,000	△500	△550	△950	
増減率 (%)	△1.5	△15.2	△15.5	△79.2	
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	268,650	2,144	2,353	1,001	22.45

(2) 単体業績予想

(金額単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	266,000	3,500	1,200	26.90
今回発表予想 (B)	261,000	2,950	350	7.84
増減額 (B - A)	△5,000	△550	△850	
増減率 (%)	△1.9	△15.7	△70.8	
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	265,524	2,316	1,005	22.53

2. 修正の理由

連結及び単体の業績予想修正の要因については、単体におけるスーパーマーケット事業における以下の原因によるものであります。

当社は、異業態を含む競争が厳しい経営環境の中、既存店舗の改装や自社工場商品の新規開発など、販売力及び商品力の強化に努め、また、稼働2年目となる食品工場（オーデ리카ファクトリー安八）の効率改善が寄与したことにより、営業利益及び経常利益は前期を上回る見込みとなりました。しかしながら、計画に対しましては、客数の伸び悩みや人件費の上昇等が要因となつて、営業収益、営業利益及び経常利益が当初予想数値を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましても、上記要因に加え、営業店舗の減損損失計上額が想定以上となったことにより、当初予想数値を下回る見込みとなりました。

減損損失計上額の詳細につきましては、本日（2019年3月22日）発表の「減損損失（特別損失）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上